



瀧澤 新吉さん(右)と瀧澤 美津子さん(左)ご夫婦

毎日午前と午後、1時間以上かけて散歩するのが日課。ごみ拾いだけではなく、花壇の整備やゴミステーションの清掃、降雪時には歩道の除雪など、自治会の方々と協力しながら活動されています。

ナイス ひつ nice さん 見つけちゃいました!

**今月のいいね**

まちの魅力は、そこに住む人の生き方に現れる。『今月のいいね』は、さまざまな分野で活躍中の「まちのひと」を紹介していくコーナーです。

**Vol. 2**

静内山手町の「せせらぎ水路」が完成して以来、17年間にわたって周辺の環境美化に携わっている瀧澤さんご夫婦に、今までの活動などについてお話を伺いました。

### ■ 美化活動を始めたきっかけ

平成14年に「せせらぎ水路」が完成しましたが、当時はごみをポイ捨てされたり、花壇の花をいたずらで抜き取られたり、ひどい状態でした。

自治会で花壇の整備をしていたこともあって、せっかくきれいな水路になったのだからもったいないと思い、ごみ拾いを始めたのがきっかけです。

最初は狭い範囲だけでしたが、一度始めると他の場所も気になってしまい、今では1日1万歩くらい歩きながら、ごみ拾いをしています。



### ■ 17年間続けて変わったこと

今はごみのポイ捨てや花壇へのいたずらもほとんどなくなり、昔に比べて本当にきれいになったと思います。

新しいゴミステーションも設置されたおかげで、利用する人も「新しいからきれいに使おう」としてくれるのか、最近ではゴミステーションの清掃も大変ではありません。

きれいになれば、それを維持しようとみんなが思う。一番良いサイクルだと思います。



### ■ 今までを振り返って

少し前に、ごみ拾いをしていると中学生くらいの女の子が「ありがとうございます」と、通りすがりに声をかけてくれました。こんなにうれしいことはありません。

ほかにも「ありがとう」と言ってくれる人がいたり、散歩中に会うと互いにあいさつを交わす人がいたり…。長年活動を続けているうちに、多くの人と顔見知りになりました。



せせらぎ水路は子どもたちの絶好の遊び場。暑い日には、親子連れが水遊びをしています。

私ももう高齢なので、今は健康維持のために散歩をしています。ごみ拾いはそのついでに行っているだけで、誰かのためではなく、自分のためにやっています。特別なことではありません。

ですが、こういった活動を知ってもらうことで、「町をきれいにしよう」「きれいな状態を保とう」という気持ちが、少しでも広がっていくとうれしいですね。